

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

G. ガリラヤへの第二の旅

15.ナザレにおけるイエスの二度目の拒絶

デイリー・ジーザス・ニュース #101

MK 6.1-6A (対訳: MT 13.54-58)

1^Mイエスはそこを去って故郷へ行かれた。弟子たちは従って行った。2 安息日になると、イエスは会堂で教え始められた。聞いた多くの人々は驚いた。

「この人はどこでこんなことを知ったのですか。一体どんな知恵を授かったのですか。一体どんな驚くべき奇跡を行っているのですか。3 この人は大工の息子ではありませんか。マリヤの息子で、ヤコブ、ヨセフ、ユダ、シモンの兄弟ではありませんか。姉妹たちも皆、ここに私たちと一緒にいるではありませんか。」こうして彼らはイエスに腹を立てた。

(4) イエスは彼らに言われた、 **「預言者は自分の町内、親族、自分の家以外では尊敬されないことはない。」**

彼らの不信仰のゆえに、イエスはそこで多くの奇跡を行うことができず、^{ただ数人の病人に手を置いて癒すことしかできなかった。} (6) イエスは彼らの不信仰に驚きを禁じ得。なかった

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**イエスの言葉は赤字で斜体で書かれています。**旧約聖書からの引用は大文字で書かれています。

| コンテキストダイジェスト | |
|--------------|---------------------------|
| 位置 | ガリラヤのナザレ |
| タイムライン | 2 ^{ツア} 終了時) |
| イエスの生涯の文脈 | 第4段階：ガリラヤにおける大宣教 |
| | G. 第2 ^回 ガリラヤ巡礼 |
| タイトル | 15.ナザレにおけるイエスの二度目の拒絶 |

コメント：

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

G. ガリラヤへの第二の旅

これまでの5つの朗読を通して見てきた6つの力強い奇跡の後、イエスが故郷ナザレで遭遇した強い不信仰は、実に衝撃的なものでした。これはイエスが故郷に戻った最後の機会であり、その旅は、1年前の最初の訪問（デイリー・ジーザス・ニュース朗読第51章）と同じように、根深い不信仰のために町の人々に拒絶されるという結末を迎えました。

、「あなたの信仰に従って、あなたにこうなるように命じる」という原則のマイナス面をよく表しています。マルコは「そこでは奇跡を行うことができなかった」と記しています。この記述を誤解しないよう、マタイは「彼らの不信仰のゆえに」という重要な表現をナザレの記述に含めました。

ナザレにおけるイエスの宣教活動を妨げる力や能力がイエス側になかったわけではありません。しかし、「あなたの信仰に応じて」という原則を定めることで、神は私たち自身の信仰の限界内でのみ働くことを許されました。したがって、ナザレの人々の不信仰は、イエスが彼らの間で働く能力を制限したのです。私たちの信仰の質は、実に非常に重要です。

ナザレの人々は、イエスが最後に訪れてから丸一年、イエスの奇跡的な働きについて聞く機会がありました。しかし、イエスに関する報告は彼らを混乱させました。なぜなら、彼らは信仰によって受け入れられなかったからです。イエスの家族でさえ、耳にした出来事に動揺し、イエスが正気を失ったのではないかと考え、第2回巡回巡回（DJN #090）の初めに、介入してイエスを家に連れ帰ろうとしました。彼らは誰よりもイエスの外的、感覚的な体験をしていたにもかかわらず、信仰によってイエスに触れる機会は最も少なかったのです。彼らの不信仰の力は、イエスをさえも絶えず驚かせるほどでした。

この聖句は、イエスにおける不信仰の負の力を示すだけでなく、イエスの地上での生活に関する重要な情報も提供しています。ここで、イエスが大工、つまり大工の息子であったことが分かります。イスラエルでは木材がほとんど手に入らなかったため、この言葉は石、漆喰、レンガ、葦、木材など、入手可能な様々な材料を使って作業する建築者を指していました。

イエスは木材から道具や道具を彫り、レンガや砂質コンクリートを成形し、家やその他の建造物を設計することができました。彼は賢明な建築の達人で、建築に関する知識を用いて、生涯で最も重要な永遠の建造物である教会を聖霊の神殿としてどのように創造するかを描写しました。

の家族についても語っています。イエスには少なくとも4人の異母兄弟と2人の異母姉妹がいました。マルコはナザレの人々がイエスの「姉妹」について語った言葉を引用していますが、これは少なくとも2人、おそらくそれ以上の人がいたことを意味します。したがって、イエスは少なくとも7人兄弟の長男でした。興味深いことに、イエス」の十二使徒のうち2人は、地上の兄弟たちと同じ名前、ユダとシモンを持っていました。イエスにとってユダ」という名前がいかに重要であったかは明らかです。

応用：

ナザレの人々は、イエスを肉眼で見ていたため、聖霊に油注がれた力強い働きの証拠があったにもかかわらず、イエスを神の子として信じることはできませんでした。この不信仰は大きな結果をもたらしました。

あなたはイエスへの信仰についてどのように葛藤していますか？

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

G. ガリラヤへの第二の旅

あなたの信仰は、あなたの人生におけるイエスの働きを制限していませんか？ 弱さを感じている時、どのようにイエスの恵みに頼りますか？